

1. 研究活動

<p>論文 「日本語のモダリティ：階層下降か文法的比喩か」</p>	<p>2012. 10</p>	<p>【Proceedings of JASFL】 Vol. 6: P19-32 日本機能言語学会</p>	<p>日本語のテキストでモダリティ表現が用いられた場合、特に関係過程節を利用してモダリティが表わされた場合（例：「彼は遅刻してくる」）の分析法を論じたもの。「ことがある」が階層下降して動詞群（述部）の一部となると考えるか、「ある」が独立して述部を成すと考えるか、どちらの分析法をとるかによって、述部がどこか、節の過程型が何か違ってくるため、分析に大きな影響を与える。こうした例をどう分析すべきか、またその判断基準は何かを、いくつかの文法テストを提案しながら論じた。</p>
<p>論文 Nominalization in the Japanese and English Languages Vol. 1</p>	<p>2013. 3</p>	<p>【名古屋芸術大学研究紀要】第34巻 p249-267</p>	<p>同じトピックを扱った英語と日本語のテキストを分析し、「名詞化 (nominalization)」がどの程度用いられているか比較した。名詞化をどの程度頻繁に用いるのが「自然」かは、言語によって異なり、英語で自然に感じられる名詞化表現をそのまま日本語で直訳すると、非常に不自然な、あるいは分かりにくい訳になる。そのため、英語教育という観点から見ると、名詞化表現を、なるべく本来的な意味に近い形に戻して和訳ことを教える必要がある。本稿は、教育への応用を前提に、英語に比べ日本語では名詞化の利用が実際の程度少ないかを調査した。</p>

学会発表 「日本語の心理過程：『見る』と『見える』」	2012. 10. 7	日本機能言語学会 (JASFL) 第20回秋期大会 (愛知学院大学(日進キャンパス)において)	日本語に数多く存在する、自発動詞(「見る」)に対して「見える」、「聞く」に対して「聞こえる」を用いた節に関し、選択体系機能言語学(Systemic Functional Linguistics)の枠組みから分析法を考え、これらの節は一見心理過程(Mental Process)に見えるが、「Aに(は)Bが見える」という形をとり、通常の心理過程の「AがBを見る」とは助詞のパターンが異なる。これらの節に関し、(1)過程型は何なのか(2)節の各要素(A,B)のparticipant roleは何か(3)Subjectは何か、の3つの課題を中心に、「見える」型節の分析のしかたを考え、特殊な心理過程として扱うことを提案した。
-------------------------------	-------------	---	--

## 2. 教育活動(教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

授業科目 英語1(初級)	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>「初級」「中級」に分けることで、より学生の英語力に合った授業を展開できるよう工夫した。「英語1(初級)」では、中・高までに学んだ英文法を1から復習し、大学レベルの授業への橋渡しを行う事をこころがけた。毎回小テストを行うことで、学生が学習内容をこまめに復習できるよう工夫した。</p>	<p>授業は英語の絵本を講読する形式。毎回、絵本本文をプリントにして配布した。プリントには、学生が自分で予習してきた訳を書き込むスペースや、板書事項をメモする部分なども設け、教材としての利便性を図るとともに自主的な学習を促した。</p>
授業科目 英語2(初級)	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>「初級」「中級」に分けることで、より学生の英語力に合った授業を展開できるよう工夫した。「英語2(初級)」では、中・高までに学んだ英文法を1から復習し、大学レベルの授業への橋渡しを行う事をこころがけた。毎回小テストを行うことで、学生が学習内容をこまめに復習できるよう工夫した。</p>	<p>授業は英語の絵本を講読、かつ部分的に和文英訳する形式。毎回、絵本本文をプリントにして配布した。プリントには、学生が自分で予習してきた訳を書き込むスペースや、板書事項をメモする部分なども設け、教材としての利便性を図るとともに自主的な学習を促した。</p>
授業科目 英語3	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
<p>「『アリス』の英語とことば遊び」という副題のもと、言語芸術としての「ことば遊び」を取り上げた。学期前半は教員がさまざまなことば遊びを紹介し、後半は、学生自身が英語のことば遊びを見つけて発表する、という形式をとり、学生の自発的な学習やプレゼンテーション能力の向上を目指した。</p>	<p>講読テキストは「不思議の国のアリス」「鏡の国のアリス」からことば遊びが使われている部分を抜粋してプリントにし配布した。プリントには、学生が自分で予習してきた訳を書き込むスペースや、板書事項をメモする部分なども設け、教材としての利便性を図るとともに自主的な学習を促した。プリントは毎回回収して採点した。</p>

### 3. 学会等および社会における主な活動

日本機能言語学会 (JASFL)	2000 年 4 月から現在まで	学会発表・学会誌への投稿
------------------	------------------	--------------